

【注意事項】**統合開発環境 CS+****概要**

統合開発環境 CS+の使用上の注意事項を連絡します。

1. デバッグ時のエディタパネルと逆アセンブルパネルに関する注意事項

1. デバッグ時のエディタパネルと逆アセンブルパネルに関する注意事項**1.1 該当製品**

- 統合開発環境 CS+ V6.00.00
- 【無償評価版】統合開発環境 CS+ for CC V6.00.00

上記の統合開発環境を以下の組み合わせで使用した場合に該当します。

- ・対象 MCU : RL78 ファミリ、対象デバッグツール : RL78 用デバッグツール
- ・対象 MCU : RH850 ファミリ、対象デバッグツール : RH850 用デバッグツール

1.2 内容

- (1) エディタパネルにおいてブレーク・ポイントの設定や解除等のデバッグ操作を行ったとき、図 1.1 のようにエラーが発生する場合があります。

<例>エディタパネル上でのブレーク・ポイント設定時のエラー表示画面

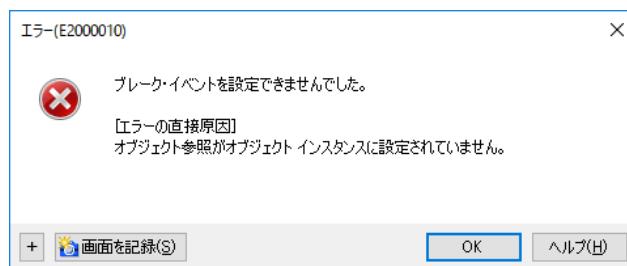


図 1.1 エラー (E0200010) ダイアログ

- (2) 逆アセンブルパネルを開いたとき、図 1.2 のようにエラーが発生する場合と、図 1.3 のように X (バツテン印) が表示される場合があります。

<例>逆アセンブルパネル上でのエラー表示画面

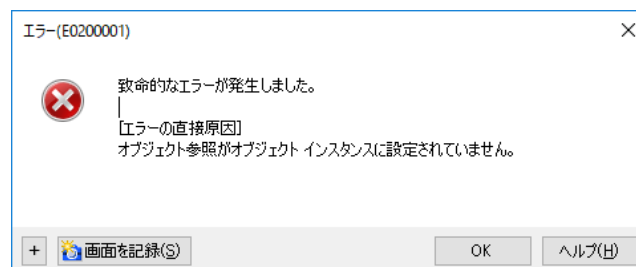


図 1.2 エラー (E0200001) ダイアログ

<例>逆アセンブルパネル上での X (バッテン印) 表示画面

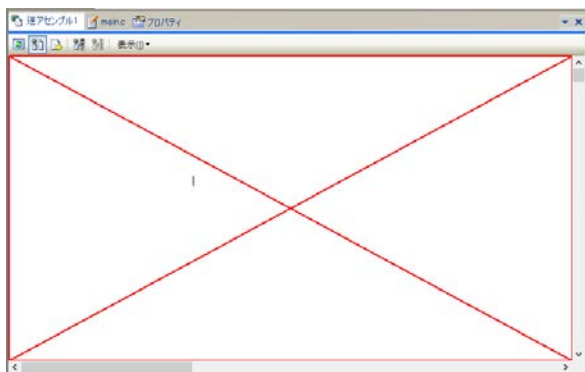


図 1.3 逆アセンブルパネルでの X (バッテン印) 表示例

1.3 発生条件

ソースファイルの先頭に “#pragma inline_asm” がある場合に発生する可能性があります。

<例>

```
#pragma inline_asm asmcode
static void asmcode(void)
{
    nop;
}
```

1.4 回避策

- **RL78** ファミリ用 C コンパイラパッケージ (CC-RL) の場合

ソースファイルの先頭に空の関数を追加してください。

<例> `void dummy1() { }`

また、本回避策として使用する `dummy1` 関数を最適化で削除されないように、以下の設定をしてください。

CC-RL (ビルド・ツール) で、[リンク・オプション]タブの[最適化]カテゴリの[最適化による削除を抑制する未参照シンボル]プロパティに、追加した空の関数のシンボルを追加してください。

追加するシンボル名は関数名の先頭に '_' を追加してください。

<例> `_dummy1`

注意：関数を追加しビルド後、CS+を再起動してください。

- **RH850** ファミリ用 C コンパイラパッケージ (CC-RH) の場合

ソースファイルの先頭に空の関数を追加してください。

<例> `void dummy1() { }`

注意：関数を追加しビルド後、CS+を再起動してください。

1.5 恒久対策

2018年1月公開予定の統合開発環境 CS+のリビジョンアップで改修予定です。

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2017.11.01	-	新規発行

ルネサスエレクトロニクス株式会社
 〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

■総合お問い合わせ先
<https://www.renesas.com/contact/>

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。